

【実践報告】

令和2年度 教育実習Ⅲの実施状況の報告

広島文教大学教育学部

教育学科 教授 杉山 浩之 講師 長澤 希 准教授 牧 亮太

1 実習の延期

2020（令和2）年度、前期予定の教育実習Ⅲ（2週間、幼稚園、4年生、5月～6月）は、新型コロナウイルスの感染拡大の影響で、担当教員から教職センターの承認を経て、一旦すべて延期する事態となった。地域や各園の実態を詳細に判断していくと実習可能な園もあったが、大学の授業が基本的にオンライン（Teams）であったため、実習の事前学修をすべてオンラインで行うことには指導上の効果に課題があるという判断を担当者が行った。

2 事前指導

事前指導は、第1回を4月24日（金）1コマ、オンラインで行う。

第2回もオンラインで6月12日（金）1コマに行い、第3回を翌週6月19日（金）1コマ、一斉の対面授業で行った。7月開始の学生から、期間の定まっていない学生も全員あつめた。実習日誌や実習関係の書類の配付など対面で行うことが不可欠であり、今後の新型コロナウイルスの収束の見通しが立たないという中での授業であった。

実習に関わる指導内容は、3年次に幼稚園実習や保育実習を経験してきた学生ということで、学生たちは特に新しい内容も少なく、1回説明すれば十分な内容である。大学及び教職センターから通知されていた新型コロナウイルス対策の行動基準があるので、それを示して徹底するように指導した。（幸いに、新型コロナウイルス感染が実習生から発生することもなかった。）9月以降の実習が予定された学生には希望者は附属幼稚園での実習が可能であるという連絡をした結果、4名が希望し、7月後半に実習を行った。

以後の事前指導は、必要に応じて個別の指導を行ったが、上にも書いたように計4回の実習を経験した学生であり、新型コロナウイルス感染が収束しない中、就職活動や就職試験の学習も並行しつつ、最後の実習を行った。

3 実習日程の決定（表）

実習日程の決定は、園の状況把握と学生の就活を踏まえた希望時期を踏まえて決めていった。6月に入ると感染拡大にブレーキがかかり、6月後半からの実習が可能であるという動きが見えてきたが、既に6月後半からは当初予定とする実習生もいるので、事前指導や事前訪問に期間を考慮し、7月か

らの実習を希望する学生は一斉に7月から実施することにした。

公立園を受験する学生、私立園への就職を第一希望とする学生に分け、次に、9月、10月、11月以降などに期間を区切って実習園との個別交渉を行った。最後の実習生となった学生は、予定した園での最終日は終業式の日であった。不運なことに体調不良で欠席があり、延長が出来ないため、残りの日数は、急遽、附属幼稚園で実施することになり、しかも、年を越して1月となった。

4 巡回指導

巡回指導も従来通り、直接訪問指導と電話による間接訪問の組み合わせは変わらないが、通常より業務の多い園に対する配慮から県内であっても間接訪問を行う園もあった。学生が巡回指導教員へ直接持参していた「巡回指導資料」と「目標と課題」はメール提出とし、巡回指導教員への連絡等もメールを原則とした。このように事前指導の方法が変更となったが、特別に課題は見られなかった。

教育実習Ⅲの日程一覧表（2020）

月	実習人数	地域（広島県内、県外）	計	備考
		公立（上段） 私立（下段）	公立 私立	
6	0		0	
7	15	山口 広島（附属幼稚園4含む）	1 14	
9	9	広島2, 島根2, 香川1 広島4	5 4	
10	10	広島3, 愛媛1 広島5, 沖縄1	4 6	
11	2	広島2	0 2	
12	2	広島2	0 2	
1	(1)	(附属幼稚園1)	(1)	2園で5日ずつ実習した学生が1名いた。
計	38		38	

5 事後指導

事後指導は、実習時期が異なったり、就活の時期に重なったり、オンライン授業から後期の対面授業への変化、無症状の感染可能性のある学生など諸要因から、例年のグループ討議や報告会は実施せず、実習の振り返りアンケート、自己評価、実習の評価開示の個別面談を行うことで終了した。なお、後期の教育実践演習において、実習での学修内容の振り返りとグループワークと全体報告が実施できたことで、例年の実習の事後学修の内容と同レベルにすることが可能となった。

おわりに

以上のように、2020年度は新型コロナウイルスの影響で教育実習Ⅲは未曾有の変更をすることになったが、無事に全員が終了できた。就職活動や卒業研究と並行させて努力した学生たちも例年に比べて大変であったであろう。例年は、学生の中には最後の実習とはいえ、実習に対する意欲が事前に足りないと思われるケースもあったが、今年は、希望して与えられた教育実習に対してある意味で必死になって取り組んだことであろう。実習期間の変更を受け入れてくださった幼稚園には誠に感謝する次第である。

資料

以下の資料は、令和3年度教育実習Ⅲに向けての覚書（担当、長澤）である。3年次の指導内容等であるが、今後の状況も不透明であり、今年と同様な事態になる可能性もあるので、ここに上げておく。

(1) 令和3年度教育実習Ⅲに向けての指導日程・内容

- 令和2年7月17日（金）5コマ
事前指導① 実施
- 令和2年7月30日（木）
希望園調査をグレクサへ提出（第3希望まで理由を書いて提出。）
- 令和2年8月～10月中旬
・授業担当者（杉山・牧・長澤）及び教職センター（岩田）で内諾電話を行う。
・令和2年10月2日（金）～広島県連絡協議会終了し、県内の内諾解禁。
- 令和2年10月16日（金）5コマ
事前指導②（11月実習組）※10月末までに学生が園へ電話訪問。
- 令和2年11月6日（金）5コマ
事前指導②（10月実習組）※11月末までに学生が園へ電話訪問。
- 令和2年11月末
学生が園への電話訪問の報告をグレクサへ提出。

(2) 昨年度までとの変更点

- ・希望園調査や電話訪問の報告など、提出すべき課題については全てグレクサに提出させた。
- ・感染症等の拡がりのため、教育実習Ⅱの時期が変更になったことに伴い、実習ⅡおよびⅢの内諾が同時並行する形となった。そのため、学生の混乱を避けるために、本年度に限り、教職員が内諾電話を行った。
- ・感染症対策のため、学生の年内の内諾訪問を中止し、郵送にて内諾書類を送付した。

(3) 内諾状況について

- 令和3年度教育実習Ⅲで内諾をいただいた園は、次の通りである。
 - ・実習Ⅲ受講予定学生59名／全50園（県外9園、県内41園／公立16園、私立34園）
- 教員による内諾及び学生の電話訪問では、概ね内諾をいただけたが、下記の点について、個別に対応した。
 - ・尾道市は、学生住居が園と同じ市内の学生しか受け入れができなかった。
 - ・呉市の私立園1園において、直接の内諾訪問をしてほしいと希望があり、本対象学生は12月中に内諾訪問へ伺った。

(4) 今後の課題

- 広島市以外の園は、令和3年度のコロナの状況によっては、実習変更の可能性もあるということを示唆されているため、状況に応じて今後も対応していく必要がある。
- 内諾電話にて実習生の住所を聞かれることが何度かあった。コロナ感染のリスクを下げるためにも、近隣に他の園があるのであればそちらで実習を行ってほしい、ということである。帰省先住所を伝えたところ、今回は断られるということではなかった。「実習の交通手段は公共交通機関」が当たり前になっているが、今年度・次年度に限っては、柔軟に考えなければいけないケースが出てくるかもしれない。

以上